

## 世界に誇れる「まち」の実現に向けて

### 1. はじめに

広島市は、天正17年（1589年）の毛利輝元による築城以来、広島城を中心に発展してきました。緑豊かな山々、多島美を誇る波静かな瀬戸内海、清らかに流れる太田川などの豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、都心部においても緑地公園などの自然環境が都市生活と調和しています。

そこに住む市民の人柄は温かく誠実で、初対面でも友好的に接し、困難な状況が起こった時も前向きに考え明るく振る舞います。この市民性が、一発の原子爆弾により焦土と化した後も、不毛の地になると言われた焼野原を先人達の不屈の努力により復興し、今日の平和都市広島があります。

昨年5月に開催されたG7広島サミットにおいては、世界の主要な国々の首脳が広島に集い、広島歴史・復興・平和への想いに触れ、共感し、「核兵器のない世界」の実現を目指すというメッセージを世界に発信されました。これは、我々の目指す“世界に誇れる「まち」の実現”に向けた取組の一里塚となり、今後、更に続いていきます。

### 2. 世界に誇れる「まち」の実現に向けて

本市のまちづくりについては、「世界に輝く平和のまち」、「国際的に開かれた活力あるまち」、「文化が息づき豊かな人間性を育むまち」の三つの柱の下、「持続」と「循環」を大切にしながら、「共助」と「協調」を基調とする地域社会の形成を強力かつ着実に推進しているところです。

「国際的に開かれた活力あるまち」づくりの一環として、都市機能の集積・強化を図り、都心の求心力を一層高めるため、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核とする「楕円形の都心づくり」を推進しています。

具体的には、広島駅周辺地区において、本市の陸の玄関にふさわしいまちづくりとなる駅南口広場の再整備や路面電車の駅前大橋ルートの新設工事等を進めており、被爆80周年となる令和7年には、大阪・関西万博を訪問した観光客の来広も含め、多くの来訪者を新しく生まれ変わった玄関口で迎える予定です。

また、紙屋町・八丁堀地区においては、本年2月に開業した広島の新たなシンボルとなり、国際試合も開催できるサッカースタジアム、それに隣接する広場エリアの整備、都心活性化のリーディングプロジェクトとして基町相生通地区市街地再開発事業を推進しています。



都市空間のサッカースタジアム



広島市長 松井 一實

さらに、「拠点地区等におけるまちづくりの推進」の一環として、商工センター地区でのまちづくりビジョンの策定や西風新都における幹線道路のネットワーク機能の強化など、「都心周辺部の大改造」にも取り組んでいます。

### 3. 土石流災害の経験を「伝承」

広島は過去10年で、風化した花崗岩によりできる「まさ土」に起因する集中豪雨による大規模な土石流災害を、平成26年8月と平成30年7月の2度経験しています。その被害は、死者・行方不明者合わせて107名（災害関連死含む）、被災家屋7,200棟以上と甚大なものでした。

本市ではこれらの災害を受け、「文化が息づき豊かな人間性を育むまち」づくりの一環である「災害に強いまちづくり」のため、豪雨災害被災地において、改良復旧を主眼に置きつつ、国や県と連携し、砂防ダム、河川や道路等が一体となった基盤施設の整備を推進するなど、地域の意見も生かした復興まちづくりを推進しています。同時に、災害に強い都市構造の形成や組織体制の整備、市民活動の推進など、近年頻発する豪雨災害への備えについても強化しています。

そういった中で、市民活動と市の連携による一つの産物として、国の社会資本整備総合交付金（都市防災総合推進事業）を活用して昨年9月に開館した、「広島市豪雨災害伝承館」があります。

これは、平成26年8月の災害から3年が経過した平成30年1月、被災地域の方々が、災害の

記憶と経験の伝承の場等としての拠点施設整備を盛り込んだ「復興まちづくりプラン」を策定し、本市へ提出されたことから始まりました。本市は、「あのつらい思いをもう二度と経験してほしくない」という被災者の強い思いを受け止め、施設整備への意思決定から、施設の具体的な内容等について被災者と協議検討を重ね、災害から9年を迎えた昨年9月に開館に至りました。昨年度の来館者数は、目標の3,500人をはるかに超えた約1万3千人に上り、地域の自主防災会、消防団や民生委員等の自治会組織、また、修学旅行を含む児童や生徒等、さらに国、自治体の議員や職員の視察、企業など、県内外から様々な方々に御来館いただき、防災・減災に関する学習の機会を提供しています。

### 4. おわりに

広島市は、被爆地として世界でも特別な歴史を持つ平和都市として、従前より海外旅行者が多く、近年のインバウンド需要の高まりも相乗し、かつてないにぎわいを見せています。

本年11月には本市において、一般社団法人全日本建設技術協会の建設技術講習会が開催されます。同講習会の現場研修では、「楕円形の都心づくり」の一翼を担うサッカースタジアムを視察していただく予定です。その他にも広島と言えば宮島、牡蠣、お好み焼き、地酒等の魅力あふれる観光資源が沢山あります。多数の皆様の来広をお待ちしています。